

楽しめるのは岡山だけ！

蜷川実花の作品をモチーフにしたデザインを重ね押しスタンプラリーが登場

重ねるほどにアートが花ひらく

重ね押し スタンプラリー

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」2027の参加アーティストである

蜷川実花の作品をモチーフにした、今回限定デザインの重ね押しスタンプラリー。

押し順番や重ね方によってインクの重なり方が変化し、

ひとつとして同じ仕上がりにならない特別なスタンプが完成します。

岡山の自然やアート作品を巡りながら、自分だけの一枚を時間をかけてつくり上げる。

今年の秋は、そんな“アートを楽しむ旅”に出かけてみませんか。

special site

イベントや
スタンプ設置施設など
詳しい情報については
特設サイトを
ご確認ください。



開催期間 2026.10.10[sat]–12.20[sun]

スタンプ設置
エリア

東エリア▶ 津山市・鏡野町・勝央町・奈義町

西エリア▶ 新見市・高梁市・真庭市

※スタンプ設置の施設など詳細は特設サイトまたは裏面をご覧ください。

2つのエリア
2つのデザイン

全6色のスタンプで
1枚のデザインを完成させると

エリア別

蜷川実花 with EiM
オリジナルデザイン
マスキングテープ
プレゼント※

※賞品の数には限りがあります。
品切れの場合はご容赦ください。

参加方法

東西どちらのエリアも

期間内であれば
どちらのエリアも
チャレンジ
できます

コンプリートを目指そう

注意事項

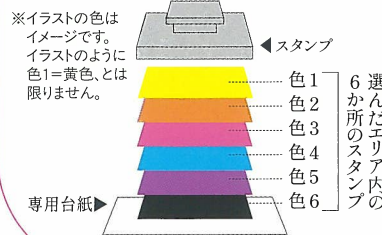
東エリア・西エリアでそれぞれ絵柄・台紙・マスキングテープが異なります

必ず東エリア内で6カ所(全6色)、または西エリアで6カ所(全6色)を巡り完成させてください。

東エリア・西エリア混合で6カ所(全6色)を巡った場合は、プレゼント対象外となります。

重ね押しスタンプとは

色や絵柄が異なる複数のスタンプを、
版画のように順番に重ねて押すことで、
色とりどりの1枚の絵が完成します。



step 1

西エリア または 東エリア のどちらを巡るか選ぶ。

step 2

西エリアについてはこちら

西エリア



西エリアスタンプ設置場所で
西エリア専用スタンプ台紙を手に入れる。

step 3

西エリアスタンプ設置場所〔西1～6〕を巡り、
6カ所、スタンプを重ね押ししていく。

※設置場所の巡る順番に指定はありません。

東エリアについてはこちら

東エリア



東エリアスタンプ設置場所で
東エリア専用スタンプ台紙を手に入れる。

東エリアスタンプ設置場所〔東1～6〕を巡り、
6カ所、スタンプを重ね押ししていく。

※設置場所の巡る順番に指定はありません。

◎マスキングテープ引換場所 ★スタンプ押印に入場料(入館料)が必要な施設

同じ番号のグループ内は押せる絵柄も同じです。

西エリア スタンプ設置場所

●新見市 ●高梁市 ●真庭市

西1 【新見市】
◎まなびの森 新見図書館

西2 【新見市】
◎新見御殿町・太池邸

西3 【新見市】
◎新見市観光案内所
新見美術館★

西4 【新見市】
井倉洞★
満奇洞★

西5 【真庭市】
◎勝山文化往来館ひしお★
道の駅 風の家

西6 【高梁市】
◎高梁市立図書館
高梁市成羽美術館★

西7 【真庭市】
旧遷喬尋常小学校
◎GREENable HIRUZEN(ショップ)

西8 【高梁市】
武家屋敷・旧埴原家★
◎旧吹屋小学校★

東エリア スタンプ設置場所

●津山市 ●鏡野町
●勝央町 ●奈義町

東1 【津山市】
◎津山観光センター

東2 【津山市】
◎城東観光案内所 和蘭堂

東3 【津山市】
◎作州民芸館
城西浪漫館

東4 【津山市】
津山城[鶴山公園](備中櫓)★
津山まなびの鉄道館★

東5 【鏡野町】
◎「みずの郷 奥津湖」
ビジターセンター

東6 【奈義町】
奈義町立図書館(奈義町現代美術館併設)
◎那岐山麓山の駅

東7 【勝央町】
◎勝央美術文学館(一部有料展示あり)
勝央ふるさとミュージアム(旧勝田郡役所庁舎)

東8 【鏡野町】
妖精の森ガラス美術館★

東9 【奈義町】ナギテラス
【勝央町】
◎おかやまファーマーズマーケット
ノースヴィレッジ

step 4

完成した西エリア専用スタンプ台紙を
西エリアのマスキングテープ引換場所へ持っていき

西エリアオリジナルデザイン
マスキングテーププレゼント!



※東エリアと柄が
異なります。

完成した東エリア専用スタンプ台紙を
東エリアのマスキングテープ引換場所へ持っていき

東エリアオリジナルデザイン
マスキングテーププレゼント!



※西エリアと柄が
異なります。

マスキングテープのプレゼントは、期間中各エリアお1人様1つ(1回)となります。

※スタンプラリーは予告なく中止または内容を変更する場合がございます。 ※イベント参加中における事故等については責任を負いかねます。

JR津山線を
中心に運行

森の芸術祭2027 先行発表作品

雄大な自然と情緒の町並みをははる花。

蜷川実花 with EiM プロトピア行き列車

2027年秋に開催する「森の芸術祭 晴れの国・岡山」に先立ち参加アーティスト「蜷川実花 with EiM」が手がける特別列車が運行を開始。「プロトピア」をコンセプトにしたこの列車は、2027年秋に進化を遂げ、完成を迎える予定。

期 10月10日～ 所 主な運行区間: JR津山線

乗車区間の運賃 運行スケジュールは特設サイトで確認



※写真はイメージです。

プロトピアとは

理想郷でも悲観的な未来でもなく、日々の小さな改善を積み重ねながら、現実をより良していく視点。森の芸術祭2027ではこの考えを「前に進む森」の姿に重ね、芸術祭を起点として、自然や文化の基盤を次世代へ繋いでいくことを目指す。

蜷川実花 mika ninagawa

写真家、映画監督、現代美術家
写真を中心として、映画、映像、空間表現も多く手掛ける。
木村伊兵衛写真賞は数々受賞。2010年ニューヨークのRizzoliから写真集を出版、映画監督としてこれまでに『ヘルタースケルター』(2012年)、『Dinerダイナー』(2019年)など5本の長編映画、およびNetflixオリジナルドラマ『FOLLOWERS』(2020年)を監督。近年は蜷川実花 with EiMとして、クリエイティブチーム「EiM(エイム)」とともに大規模なインスタレーションを手掛けるなど、表現の幅を広げている。

EiM(エイム) [Eternity in a Moment]

科学者・アーティスト・クリエイティブ・ディレクターの宮田裕章、プロダクションデザイナーのENZO、クリエイティブ・ディレクターの桑名功、照明監督の上野甲子朗らで結成されたクリエイティブチーム。プロジェクトごとに多様なチームを編成しながら活動する。

